

消費者モニター活用による 商品開発研究会

支援先

県内製造企業等

【内 容】

■目的

参加企業各社の既存製品のリニューアルや新規商品開発などにあたり、商品企画やサンプル試作段階から消費者モニターによる調査を実施することで、客観性や新規発想を取り入れつつ改良や開発につなげるマーケットイン型の商品開発を模索し、「売れる確度の高い商品開発」を目指します。

■実施方法

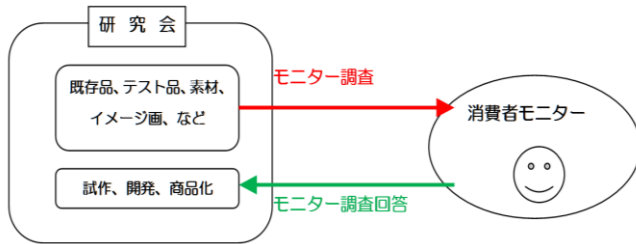


図 1 研究会実施方法

①消費者モニターの募集

本研究会の主旨を公知しモニターを募集

②既存品やテスト品のモニター調査

グループインタビュー、サンプルによる調査、アンケート調査、個別意見聞き取り etc

③試作、開発、商品化

■活動実績

第 1 回研究会 (H25. 10. 09)

- ・研究会の紹介（概要、今後の計画について）
- ・事例紹介「消費者モニター活用による製品開発事例」
- ・自己紹介（製品紹介など）

第 2 回研究会 (H25. 11. 26)

- ・モニター対象商品について
- ・モニター募集の方法について
- ・行政ネットワーク掲示板を利用したモニター調査事例

■モニター調査予定対象製品

- ・創業コンサルティングと会社設立支援との相乗的サービス提供（サービス）
- ・踏み台昇降運動用器具【ウエスト・マウンテン】（製品）
- ・ボディ・ウォッシュ用品【紬のミトン】（製品）
- ・自動車のシートベルトに付けて使用する保温クッション（製品）
- ・紬を使用したクッション【antikarium Chronicle Cushion】（製品）
- ・茨城県産農産物を加工したジャム及び容器（製品）



【ウエスト・マウンテン】



【紬のミトン】



【antikarium Chronicle Cushion】

図 2 モニター調査予定対象製品例

基礎となった事業

平成 25 年度オンリーワン技術開発支援事業（研究会）

現在の担当部門

紬技術部門	部 門 長	篠塚 雅子	TEL:0296-33-4154
	主任研究員	本庄 恵美	
	主任研究員	中野 睦子	
産業連携室	部 門 長	児玉 弘人	TEL:029-293-7212
	主任研究員	石川 章弘	